

2. 指標設定

成果指標	指標名	就業人口	目標年度	H27	指標の設定理由			
	数値	22,000人			雇用の確保・創造は、地域活性化に向けた基本的な政策であるため			
活動指標	指標	a	シルバー会員数	b	新卒者の就職者数	c		d
	数値	目標	600人	目標	30人	目標		目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H20	H21	H22
就業人口	人	20,317 人	20,317 人	20,317 人
		92.4 %	92.4 %	92.4 %

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a シルバー会員数	人	566 人	580 人	588 人
		94.3 %	96.6 %	98.0 %
b 新卒者の就職者数	人	24 人	15 人	25 人
		80.0 %	50.0 %	83.3 %
c				
d				

4. 課題と対応

課題
若者を中心とした雇用の確保・創造に力を注ぐべき
対応（改善点等）
雇用創造推進事業に取り組むこととしている

5. 事業費・・・H20～H22（決算額）、H23（予算現額）

決算額（千円）		H20	H21	H22	H23
		16,287	16,219	17,032	17,176
うち経常経費		16,287	16,219	16,231	15,118
財源内訳	国費				
	県費			801	
	市債				
	その他	7,226	7,226	7,226	6,728
	一般財源	9,061	8,993	9,005	10,448
うち経常		9,061	8,992	9,005	8,390
事業費に係る人件費		425	384	4,818	2,580

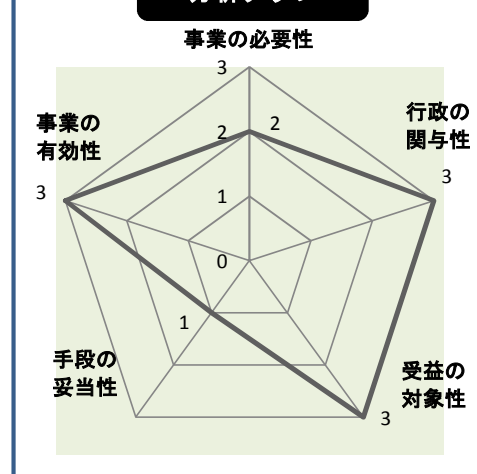
6. H24年度予算の方向性

方向性
増額
理由
①シルバー人材センターをはじめとする団体への補助金、負担金は減額の方 ②雇用創造事業は、国の補助事業としてサンセット方式（H23～H25）で実施するもの

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	2 主に若者に対して必要性が高いが、シルバー人材センター等団体については国等の動向により見直すべき
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 雇用の確保・創造は、これまで国・県に依存してきたが、市町村において最も重要な分野の一つであるため、深く関与すべき
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 生産年齢人口が対象である
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	1 主に若年層に対する指標が必要
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 目標に対する達成率が高く、有効性が高い

分析グラフ



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	補助金交付要綱を順守し取り組むこと